

令和7年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

世界史

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから10ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文章A～Cを読み、文中の空欄（a）～（j）に適切な語句を入れなさい。また、後の(1)～(11)の問いに答えなさい。

A 前1000年を過ぎた頃から①アーリヤ人が移動した（a）川の流域では、稲作を中心とした農業生産が拡大し、②ヴァルナ制と呼ばれる身分的上下観念が生まれた。前6世紀頃には城壁で囲まれた都市国家が数多くつくられるようになった。社会的・経済的な発展を背景に、宗教思想にも新しい哲学的な展開が生まれた。（b）哲学では、人間は業（カルマ）が支配する輪廻にとらわれた存在とされ、宇宙の根本原理（ブラフマン）と自己（アートマン）を合一させることによって、輪廻からときはなたれ解脱することができる」と説かれた。

これに対し、現代のインドとネパールの国境周辺で王国を形成していたシャーキャ（釈迦）族の王子として生まれたガウタマ＝シッダールタが、業、輪廻、解脱の考えを深めて③仏教を創始し、苦の原因から離脱する正しい認識の方法（四諦）と、正しい実践の方法（八正道）を説いた。また、マガダ国の（c）は、禁欲的な苦行と徹底的な不殺生により解脱を得るとするジャイナ教の祖となった。④これらの両宗教は急速に信者を増やした。

- (1) 下線部①について、アーリヤ人の宗教的な知識をおさめた最古の文献群のうち、太陽などの自然を神格化し、その神々に捧げた賛歌集の名称を書け。
- (2) 下線部②について、次の資料1は、ヴァルナ制と呼ばれる身分的上下観念を記したものの一部である（資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある）。に適するヴァルナの名称を書け。

資料1 「マヌ法典」

バラモンには教授と学習、自分と他人のための祭式執行、布施と受施〔という生活法〕を割り当てた。

クシャトリヤには人民の守護、布施すること、祭式を行うこと、学習、および感官の対象に執着しないことを指示した。

ヴァイシャには家畜の飼育、布施すること、祭式を行うこと、学習、商業、金貸し業、および農業〔を定めた〕。

主は、に対し、これらの〔上位三〕ヴァルナに不平を言わずに奉仕するという唯一の行為のみを命じた。

（歴史学研究会編「世界史史料2」岩波書店）

- (3) 下線部③について、仏教に関わりの深い人物について述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- ア 上座部仏教は、竜樹（ナーガールジュナ）によってその教理が理論化された。
- イ 鳩摩羅什は、唐代の中国において仏典の翻訳に活躍した。
- ウ 唐からインドに往路復路ともに陸路で旅した玄奘は、帰国して『大唐西域記』を著した。
- エ 7世紀後半には班超が海路でインドを訪れ、帰国の途上に『仏国記』を著した。
- (4) 下線部④に関して、生徒から「当時のインドでは、なぜ仏教とジャイナ教の信者が増えたのですか。」と質問があった。あなたが教師であれば、どのように説明するか。両宗教を支持した主な階層に触れながら、次の語句を用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

B 前4世紀後半、アレクサンドロスの西北インド進出は、インドの政治的統一をうながし、マガダ国の武将（d）がマウリヤ朝をたて、首都を（e）においた。マウリヤ朝の最盛期は⑤アショーカ王の時代であった。しかし、官僚組織と軍隊の維持が財政難をまねいたことや、王家に対するバラモン階層の反発もあり、マウリヤ朝は王の死後に衰退した。マウリヤ朝が崩壊したのちに成立した国々でも仏教は栄えた。⑥1世紀後半から3世紀前半にかけてクシャーナ朝が、4世紀に入るとグプタ朝がおこり、グプタ朝では（f）の時に最盛期を迎え、北インド全域を統治する大王国となった。仏教の勢力におされていたバラモン教は、各地の信仰や儀礼を吸収して、徐々にヒンドゥー教へと変容していった。

8世紀からイスラーム勢力が進出してくる10世紀頃までの⑦南アジアは、統一的な中央政権が存在せず、多数の地方王権からなる時代となり、北インドでは（g）と総称されるヒンドゥー諸勢力の抗争が続いた。

- (5) 下線部⑤の人物の統治に関する業績について、仏教に関する政策を関連付けながら説明せよ。
- (6) 下線部⑥に関して、次の資料2は「クシャーナ朝時代とグプタ朝時代における古典文化」というテーマを設定し、ある生徒がまとめたものの一部である。

資料2 《クシャーナ朝時代とグプタ朝時代における古典文化》

○ クシャーナ朝時代

- ・ヘレニズム文化の影響を受けて、初めて仏像がえられる
→ 地方を中心とする仏教美術が開花

○ グプタ朝時代

- ・ 語が公用語に
- ・ 仏教彫刻やアジャンター石窟寺院の壁画→インド固有の様式美が発展
→インド古典文化の黄金期が出現
- ・ 数学などの発達→他地域へ伝播→のちに近代科学の発展の基礎に

i) 、 に適する語句をそれぞれ書け。

ii) 二重線部について、数学に関する知識や概念、伝播した地域を挙げながら具体的に説明せよ。

(7) 下線部⑦の諸勢力について述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア プワイフ朝から独立したゴール朝が北インドへの侵攻を繰り返したが、ヒンドゥーの諸勢力は一致して対抗できなかった。

イ 南アジア最初のイスラーム王朝は、創始者が奴隷軍人出身であったことから奴隷王朝と呼ばれた。

ウ ムガル帝国のアウラングゼーブは非イスラーム教徒に課されていた人頭税を廃止して、ヒンドゥー教徒とイスラーム教徒との融合を図った。

エ 西インドではヒンドゥー国家の建設をめざすマラーター王国が登場し、勢力を拡大したがインド支配を進めるフランスに敗れた。

C 東南アジアでは前4世紀になると中国の影響下に、ベトナム北部を中心に独特な青銅器や鉄製農具を生み出した(h)文化が発展した。東南アジアでは貿易による富の蓄積や外来文明との接触を通じて、紀元前後の数百年の間に、都市と国家が出現した。代表的なのは、マレー半島や大陸沿岸にできた港市と港市国家で、メコンデルタを本拠とする扶南の外港と推定される(i)からは、ローマの貨幣やインドの神像、中国の鏡などが出土しており、⑧東西交流がうかがえる。

インドで古典文明が成熟した4～5世紀以後には、内陸部に出現した農業を基盤とする国家も含め、⑨東南アジアの諸勢力の多くがヒンドゥー教や仏教などのインド文明を積極的に取り入れ、権力の強化を図った。こうしたなか、大陸部では、6世紀にメコン川中流域にクメール人によってヒンドゥー教の影響の強い⑩カンボジアがおこり、扶南を滅ぼした。

マラッカ海峡を抜ける交易ルートが発達した7世紀以降、諸島部に強大な国家が現れた。7世紀半ばに、スマトラ島のパレンバンを中心にシュリーヴィジャヤが成立した。中部ジャワでは大乘仏教国の⑪シャイレンドラ朝やヒンドゥー教国のマタラム朝が生まれた。ベトナムでは、前漢以来中国に服属していたが、11世紀初めには李朝が成立し、のちに国名を(j)と称した。

(8) 下線部⑧について、1世紀から2世紀における東西交流について、インド洋地域と東南アジア地域それぞれを例に挙げながら、次の語句を用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

サータヴァーハナ朝	日南郡
-----------	-----

(9) 下線部⑨について述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 海上交易の要衝として発展したマラッカ王国は、清と朝貢関係を結んだ。
- イ 17世紀には、スマトラ島のアチェ王国が香辛料貿易で栄えた。
- ウ ベトナム最後の王朝である阮朝は、19世紀にはイギリスの保護国とされた。
- エ ビルマのコンバウン朝は、東南アジアで唯一植民地化の圧力を回避し、独立を維持した。

(10) 下線部⑩について、カンボジアにおいて、12世紀前半にスールヤヴァルマン2世がヒンドゥー教の霊廟寺院として造営した建築物の名称を書け。

(11) 下線部⑪について、この王朝によりジャワ島中部に建設された世界最大級の仏教寺院の名称を書け。

2 次の文章A、Bを読み、文中の空欄(a)～(k)に適切な語句を以下の語群ア～ヌよりそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。また、後の(1)～(10)の問いに答えなさい。

語群

ア：足尾	イ：アカプルコ	ウ：渭水	エ：石見	オ：開封
カ：カリカット	キ：官戸制	ク：呉楚七国	ケ：士大夫	コ：紅巾
サ：条里制	シ：靖康の変	ス：靖難の役	セ：長安	ソ：趙匡胤
タ：藩鎮	チ：ポトシ	ツ：マカオ	テ：里甲制	ト：李自成
ナ：李舜臣	ニ：淮河	ヌ：黄巾		

A 唐の滅亡後、華北では五つの王朝が交代し、各地で10余りの政権が割拠したが、960年に後周の武将(a)が宋(北宋)を建て、次の太宗は中国内地の大部分を統合した。後唐を除く五代の諸王朝は、江南との交通・輸送を重視して大運河と黄河の接点である(b)に都を構え、宋も同じく都とした。宋は安史の乱以来200年以上続いた(c)の割拠と武人優位の風潮を抑え、中央集権化を進めるために、①文治主義をとった。

11世紀後半、財政を再建し富国強兵を実現するため、皇帝神宗に登用された王安石が②新法とよばれる一連の改革を行った。しかし、経済・社会への政府の強い介入には反発する勢力も多く、以後、新法推進派(新法党)と③司馬光ら反対派(旧法党)の党争が続いて政局は混乱した。

④12世紀初め、宋は⑤遼（キタイ帝国）を討とうとして新興の金と結んだが、背信行為を重ねたため、南下した金軍に（b）を攻略されて滅亡した。この一連の出来事を（d）という。このとき皇帝をはじめ多数の王族・高官が捕らえられたが、逃れた王族が江南で宋を再建した（南宋）。実権を握った和平派の秦檜は、主戦派の岳飛らを退けて金と講和し、（e）を国境として金に臣礼をとり、毎年多額の銀・絹を貢納することとした。金と南宋が並立した約100年間はおおむね平和が続き、都の臨安（現在の杭州）が繁栄した。

- (1) 下線部①について、次の資料1は、文治主義といわれる宋代の体制の確立につながった方策の一つについて記されたものである。この方策の内容について、目的に触れながら、説明せよ（資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。）。

資料1 「宋史」選挙志一（1345年）

開宝五（972）年、礼部が進士科（科挙試の最重要科目）および諸科の合格者28人を上奏すると、太祖皇帝は自ら講武殿で彼らと引見したが、まだ引試（試験官が受験生の身元保証を確認した上で試験を実施する）には及ばなかった。（中略）皇帝は、そのすべて（不合格者名簿に記載された360名）と召見して、その中から195人を選抜し、（中略）自らが講武殿にお出ましになって紙筆を彼らに与え、とくに詩賦の試験を実施された。（中略）その結果、進士科26人、五経科4人、開元礼科7人、三礼科38人、三伝科26人、三史科3人、学究科18人、明法科5人をすべて及第とし、そのうえ彼らに銭20万を与えて宴会を張った。

（歴史学研究会編「世界史史料4」岩波書店）

- (2) 下線部②について、新法の一つとして、中小農民を保護するために制定された、植え付け時の金銭や穀物の低利貸付策を何というか、書け。
- (3) 下線部③について、この人物が編年体で著した歴史書名を書け。
- (4) 下線部④について、この時代の出来事について述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。
ア イギリスの貴族たちは、ジョン王にせまってマグナ＝カルタ（大憲章）を認めさせ、王権を一部制限した。
イ ティムールは、アンカラの戦いでオスマン朝軍を破り、スルタンを捕虜とした。
ウ セルジューク朝のトゥグリル＝ベクは、カリフからスルタンの称号を得た。
エ ヴォルムス協約の成立により、皇帝は聖職者の任命権を失い、教会は世俗権力から自立した。
- (5) 下線部⑤について、遼が中国農耕社会の一部を支配するに至った経緯について、遼の建国者名を明記しつつ、以下の語句を用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

後晋

- B 元末期の（f）の乱で頭角を現した朱元璋（洪武帝）は、1368年に南京を都として明を建てた。洪武帝は⑥儒学を重んじ、農民を厳しく統制し、全国の土地・人口を調査して⑦土地台帳と、戸籍・租税台帳をつくらせるとともに、地方の徴税業務や治安維持にあたる（g）を整備した。また、皇帝自らが六部を統括して皇帝権の強化をはかった。

洪武帝の死後、帝位をめぐる争いに勝利をおさめて即位した永楽帝は、都を北京に移すとともに、大規模な対外遠征をおこなった。また、⑧宦官の鄭和に南海遠征を命じた。

永楽帝の死後、北方では、15世紀半ば以降、勢力を回復したモンゴルが貿易の拡大を求めて明への侵入を繰り返すようになった。そのため、明は北方防備のため万里の長城を補修・延長したほか、巨額の軍事費を投入した結果、大量の銀が北方に集中して国内の銀不足が深刻となった。16世紀に日本の（h）銀山で銀の採掘が始まると、中国における銀の需要にこたえる形で、日本からの銀の流入が急速に増えていった。1570年前後には、フィリピンを領有したスペインがマニ

ラを建設し、マニラとアメリカ大陸の (i) とのあいだで、太平洋を横断する帆船貿易が始まった。また、(j) に居住権を得たポルトガルも日本の長崎とのあいだで活発な貿易を行った。これらのルートを通じ、⑨スペイン領アメリカの銀山で採掘された銀も日本の銀と同様、大量に中国に流れ込み、中国での商品流通をうながした。

1620年代以降、地球規模の寒冷化で災害が多発し、農村は疲弊したが、政争のため有効な手は打たれず、暴動・反乱が続発した。一方、1616年にヌルハチは中国東北地方に後金を建国して明に挑戦し、跡を継いだホンタイジ(太宗)は、1636年に国号を清と定めた。1644年、(k)の乱によって北京が攻略され、明が滅亡すると、清は長城を越えて北京に遷都し、(k)や明の残存勢力を次々に平定した。こうして清皇帝は中華皇帝の地位も受け継ぎ、⑩康熙帝から乾隆帝までの約130年間は清の最盛期となった。

- (6) 下線部⑥に関して述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- ア 前漢の高祖は、董仲舒の献策を受け、儒学を官学化した。
 - イ 南宋の朱熹は、北宋の周敦頤を祖とする宋学を大成した。
 - ウ 明の陸九淵が説いた陽明学は、人には本来、理が備わっているのだから心のままに実践する知行合一を説いた。
 - エ 清の鄭玄が説いた考証学は、空疎な議論ではなく、事実に基づく着実な実証研究の必要を説いた。
- (7) 下線部⑦について、洪武帝が作成させた土地台帳名を書け。
- (8) 下線部⑧に関して、資料2は、鄭和の南海遠征を取り扱った授業での生徒と教師の会話である。

資料2

生徒：永楽帝が鄭和に南海遠征を命じた目的は何ですか。

教師：I ためです。

生徒：そうなのですね。ところで先生、資料集の地図を見ると、鄭和はアフリカ東岸まで達したのですか。

教師：そうです。アフリカ東岸のマリンディが最遠到達地ですね。

生徒：マリンディって、現在のどの国にあるのですか。

教師：ケニアです。多くの観光客が訪れている都市ですよ。

生徒：随分遠いところまで行ったのですか。そういえば、ポルトガルのヴァスコ＝ダ＝ガマも、インド航路開発の際にマリンディに立ち寄ったのではないですか。

教師：よい点に気付きましたね。では、鄭和とヴァスコ＝ダ＝ガマを比較しながら、さらに深い学習活動を進めていきましょう。

- i) I に適する内容を書け。
- ii) 二重線部について、あなたが教師であれば、鄭和とヴァスコ＝ダ＝ガマのそれぞれの航海の比較を通して、生徒に気付かせたい点は何か。具体的な学習活動に触れながら、書け。
- (9) 下線部⑨に関して、16世紀には各種の税や徭役を銀に一本化して納入する新しい税制が実施された。この税制名を書け。
- (10) 下線部⑩について、
- i) 康熙帝と乾隆帝それぞれが行った海上貿易政策について、次の語句を用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。
鄭成功 公行
 - ii) 康熙帝が、ロシア皇帝と1689年に締結した条約名を書け。

- 3 次の文章は、「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）の世界史探究の「2 内容」の大項目「D 諸地域の結合・変容」から一部抜粋したものである。文章中の二重線部に留意した上で、「19世紀のヨーロッパにおける自由主義とナショナリズムの高揚」という主題を設定し、資料を活用して探究する授業を実施した。後の問いに答えなさい(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

(2) 世界市場の形成と諸地域の結合

諸資料を活用し、(1)で考察した観点を踏まえた問いを基に、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解すること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

(イ) 大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現すること。

問 次の資料は、「フランスで起こった七月革命と二月革命を比較した際、どのような共通点と相違点があるのか。」という問いを解決するために、ある生徒が作成したものである。

資料 七月革命と二月革命について

	七月革命	二月革命
年	1830年	1848年
原因	① <u>国王の反動政治に対する国民の反発</u>	国王ルイ＝フィリップや少数ブルジョワジーの政権独占への不満
経過、結果	<ul style="list-style-type: none"> ・国王は、自由主義者が多数を占める新議会を解散させる→パリで民衆蜂起 ・オルレアン家のルイ＝フィリップが新国王に（七月王政） 	<ul style="list-style-type: none"> ・選挙法改正運動を弾圧する政府に対し、パリで革命→ルイ＝フィリップ退位 ・<u>Ⅱ</u>などの社会主義者も加わる臨時政府樹立（第二共和政）
影響	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>Ⅰ</u>が、ネーデルランドからの独立を宣言 ・ポーランド、イタリア、ドイツでも国民国家を求める運動が激化 ・イギリスで第1回選挙法改正（1832年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・②<u>ドイツ、オーストリア、ハンガリー、イタリアなどにおいて、自由主義やナショナリズムの運動が高揚</u>→「諸国民の春」 ウィーン体制の崩壊

- (1) Ⅰに適する国名を書け。
- (2) Ⅱの人物は、第二共和政下で失業者救済のために国立作業場を設置させた。適する人物名を書け。
- (3) 下線部①について、国民の反発が高まる中、当時のフランス国王が行った対外政策について、国王名と目的に触れながら説明せよ。
- (4) 下線部②について、ウィーンで起こった三月革命の中で、失脚したオーストリアの政治家は誰か、書け。

- 4 次の文章A、Bを読み、文中の空欄（a）～（j）に適切な語句を以下の語群ア～テよりそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。また、後の（1）～（9）の問いに答えなさい。

語群

ア：セルビア	イ：ブルガリア	ウ：四カ国	エ：サライエヴォ	オ：ロンドン
カ：バルカン	キ：オランダ	ク：ローマ	ケ：ワシントン	コ：九カ国
サ：主力艦	シ：ブタペスト	ス：不戦条約	セ：ザールラント	ソ：宥和政策
タ：ラインラント	チ：クリミア	ツ：補助艦	テ：ラパロ	

A ①列強の陣営間対立と、新興諸国間の競合が複雑にからみあい、緊張が高まった（a）半島は「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれていた。1914年6月28日、ボスニアの州都（b）で、オーストリアの帝位継承者夫妻が暗殺された。事件の背後に（c）がいるとするオーストリアは、ドイツの支持のもとで、7月28日に（c）に宣戦した。これに対抗してロシアが総動員令を出すと、ドイツは8月初め、かねてからの計画に従って、ロシアとフランスに宣戦し、中立国ベルギーに侵入して、まずフランスをめざした。イギリスは、中立国侵犯を理由にドイツに宣戦し、②日本も1914年8月下旬に日英同盟を口実に参戦した。

11月にはオスマン帝国がドイツ・オーストリア側について参戦したので、戦線は東アジアや西アジアにも拡大した。列強は秘密条約にもとづく③戦時外交を繰り広げ、1915年になると、イタリアが連合国と「未回収のイタリア」について（d）密約を結び、オーストリアに宣戦した。短期決着と想定されてはじまった大戦は人々の予想に反して長期化し、膨大な数の犠牲者を出して1918年11月、同盟国側のドイツの敗北によって終結した。4年あまりにわたった大戦を大きく転換させたのは、1917年の④アメリカ合衆国の参戦と⑤ロシア革命であった。

- (1) 下線部①について、第一次世界大戦直前のヨーロッパ列強の陣営間対立についての板書例を、や語句を用いて示せ。
- (2) 下線部②に関して、東アジアにおいて日本の軍事行動の主目的となったドイツ租借地をア～エから1つ選び、記号で答えよ。
ア 威海衛 イ 広州湾 ウ 旅順 エ 膠州湾
- (3) 下線部③に関して、次の資料1は、第一次世界大戦中にイギリスが発した政治文書である（資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。）。

資料1 「ロスチャイルド卿宛の書簡」（1917年11月2日）
（前略）「国王陛下の政府はパレスチナにおいてユダヤ人のための民族的郷土を設立することを好ましいと考えており、この目的の達成を円滑にするために最善の努力を行うつもりです。また、パレスチナに現存する非ユダヤ人諸コミュニティの市民および信仰者としての諸権利、ならびに他のあらゆる国でユダヤ人が享受している諸権利および政治的地位が侵害されることは決してなされることはない」と明確に理解されています。」
貴下がこの宣言をシオニスト連盟にお知らせいただけましたならば光栄に存じます。
（歴史学研究会編「世界史史料10」岩波書店）

- i) イギリスの矛盾外交の一つを示すとされるこの文書は、一般に何と呼ばれるか、書け。
ii) i) の他に、イギリスが第一次世界大戦中に展開した矛盾外交について、以下の語句を用いて説明せよ。なお、語句を使用した箇所には下線を付すこと。

フランス アラブ人

- (4) 下線部④について、アメリカ合衆国が参戦するきっかけとなったドイツの軍事作戦の名称を答えよ。

- (5) 下線部⑤について述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- ア 皇帝ニコライ1世に救済と平和を求める民衆に対して、警備隊が発砲する血の日曜日事件が起こった。
- イ メンシェヴィキのケレンスキーが臨時政府の首相となったが、各地のソヴィエトではボリシェヴィキの支持者が増加した。
- ウ 農民が伝統的に支持する社会革命党（エスエル）が選挙で第一党になると、レーニンは憲法制定会議を解散した。
- エ トロツキーは戦時共産主義を宣言して計画経済を導入し、工業、銀行、貿易の国家管理を実現した。

B 東アジアと太平洋地域への進出をもくろむアメリカの提案で、1921年、(e)会議が開かれ、新たな国際秩序づくりが話しあわれた。それは日本の勢力拡大を牽制するものとなった。まず、太平洋地域の現状維持をめざす(f)条約が結ばれ、これにともなって日英同盟は廃棄された。また、中国の主権尊重・門戸開放・機会均等などを定めた(g)条約が結ばれた。さらに拡大を続ける各国の海軍力に関しては、それぞれ(h)の保有比率とその上限を決めた海軍軍縮条約が結ばれた。

ウィルソン大統領が⑥十四カ条で提唱した国際平和維持機構の構想が、ヴェルサイユ条約において実現し、世界初の集団安全保障機構として、⑦国際連盟の設置が定められた。また、ドイツと周囲の国との国境線の維持と領土の不可侵、(i)の非武装化の確認に加え国際紛争の仲裁などの安全保障を約した⑧ロカルノ条約が、1925年、ヨーロッパの7か国によって結ばれた。この条約は、ドイツを取りまく緊張を緩和し、翌年、ドイツの国際連盟加盟とともに発効した。

一方、戦争を違法とし、国際紛争の解決の手段としないことを宣言する(j)が提案され、1928年、欧米列強を中心に日本もふくめた15カ国が調印した。こうして、世界の安全保障をめざした⑨ヴェルサイユ＝ワシントン体制が成立した。

- (6) 下線部⑥について、次の資料2は、十四カ条を契機に広まった民族自決に関連する主な出来事と問題点について、生徒がまとめたものである。教師であるあなたは、民族自決の理念がもたらした問題に対する生徒の理解を更に深めるために、資料3のとおり助言した。□I□・□II□に適する内容を書け。

資料2 《民族自決に関連する主な出来事と問題点》

○ 主な出来事

- ・1917年 「平和に関する布告」・・・無併合、無賠償、民族自決を呼びかける
- ・1918年 ウィルソンの14カ条の平和原則に民族自決が盛り込まれる
→「平和に関する布告」に対抗する意図
- ・1919年 パリ講和会議
→戦勝国が自国の利益を主張したため、民族自決は限定的なものに

○ 問題点

- 東欧□ 一民族一国家を理念とする国民国家の形成は新たな問題を生む
- アジア・アフリカ□ 同盟国の旧植民地や領土を国際連盟の委任統治として分配

資料3 助言内容

多数の民族が混住する東欧においては、一民族一国家を理念とする国民国家の形成によって、

□I□という問題点が挙げられます。

また、アジア・アフリカにおいては、□II□という点が問題です。民族自決の理念をめぐる問題と現代の諸問題とを関連付けて考えるとよいでしょう。

- (7) 下線部⑦について、次の資料4は国際連盟加盟をめぐるアメリカ国内の反応をあらわしている。アメリカが国際連盟に加盟しなかった背景について、資料から読み取れるアメリカの外交方針に触れながら、書け(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料4 「ヘンリー＝カボット＝ロッジ上院議員の演説」(1919年3月19日)

(前略) …われわれ自身は保障を求めません。われわれには侵略される危険のある国境はありません。しかし、われわれは、連盟が完全なものとなったあかつきには、事実上世界のすべての国家の領土的保全を保障するよう求められているのです。今日の段階でいえば、われわれはあの広大な大英帝国の各部分の領土的保全と政治的独立とを保障するのです。(中略)

私はアメリカをこれまでどおりにしておきたいのです—それは、アメリカを孤立させ、偉大な目的のために他の国々と協力することを阻むということではありません—ただ自分の運命の支配者であってほしいのです。

(歴史学研究会編「世界史史料10」岩波書店)

- (8) 下線部⑧について、この条約の締結に尽力したドイツの外相は誰か、書け。
- (9) 下線部⑨に関して、ヴェルサイユ＝ワシントン体制下のアジア・アフリカの動向について述べた次の文のうち、正しいものをア～エから1つ選び、記号で答えよ。
- ア 青年将校らの反乱をきっかけに、反乱軍がマケドニア一帯を掌握し、スルタンに憲法の復活を認めさせた青年トルコ革命がおこった。
- イ イランでは軍人のレザー＝ハーンがクーデタで政権を握り、統一と独立を回復し、カージャー朝を創始した。
- ウ インドでは、ガンディーの指導の下、非暴力・不服従の抵抗運動が行われた。
- エ 日本の関東軍が中国東北部での権益を守るため、張学良の列車を爆破して殺害した。

- 5 19世紀前半から半ばのアメリカ合衆国では、北欧や西欧からの移民が増加し、領土の拡大が進んだ。19世紀後半からは、「新移民」と呼ばれる人々が徐々に増加する中、19世紀末から20世紀初頭には、ユダヤ系移民も増加した。

以上を踏まえ、19世紀から20世紀初頭までにかけてアメリカ合衆国へ流入した移民の変遷について、移民が合衆国へ流入した背景や合衆国の歴史の中で果たした役割に触れながら、次の語句を用いて300字以内で記述しなさい。なお、それぞれの語句を初めて使用した箇所に下線を付すこと。算用数字は1マスに2桁まで可とし、国名は漢字略称を使用してもよい。

ゴールドラッシュ

じゃがいも飢饉

ポグロム

大陸横断鉄道

世界史解答用紙	2枚中の1	受験 番号	氏 名
---------	-------	----------	--------

(7年)

1

/	a		b		c	
	d		e		f	
	g		h		i	
	j					
(1)		(2)		(3)		
(4)						
(5)						
(6)	i)	II		III		
	ii)					
(7)						
(8)						
(9)		(10)		(11)		

2

/	a		b		c	
	d		e		f	
	g		h		i	
	j		k			
(1)						
(2)		(3)		(4)		
(5)						
(6)		(7)				
(8)	i)					
	ii)					
(9)						
(10)	i)					
	ii)					

以下はあくまでも解答の一例です。

世界史解答用紙	2枚中の1	受験 番号	氏 名	(7年)
---------	-------	----------	--------	------

1 【56点】

【各2点】

	a	ガンジス	b	ウパニシャッド	c	ヴァルダマーナ (マハーヴィーラ)	
	d	チャンドラグプタ	e	パータリプトラ	f	チャンドラグプタ2世	
	g	ラージプート	h	ドンソン	i	オケオ	
	j	大越 (ダイベト)					
(1)	『リグ=ヴェーダ』 【2点】		(2)	シュードラ 【2点】	(3)	ウ 【3点】	
(4)	(例) 両宗教とも バラモン教 の権威やヴァルナ制を否定した宗教であったため、クシャトリヤやヴァイシヤを中心に信者が増えていったから。 【3点】						
(5)	(例) ダルマを理念とした統治と平穏な社会をめざして各地に勅令を刻ませるとともに、仏典の結集や各地への布教を行った。 【3点】						
(6)	i)	II	ガンダーラ	【2点】	III	サンスクリット	
	ii)	(例) 十進法やゼロの概念が、イスラーム世界を通じてヨーロッパへと伝わり、近代科学発展の基礎となった。 【4点】					
(7)	イ 【3点】						
(8)	(例) インド洋地域では、 サータヴァーハナ朝 が、季節風 (モンスーン) を利用して、海上交易を行った。東南アジア地域では、大秦王安敦の使節と称する者が海路で 日南郡 に達した。 【4点】						
(9)	イ	【3点】	(10)	アンコール=ワット	【2点】	(11)	ボロブドゥール
						【2点】	

2 【56点】

【各2点】

	a	ソ	b	オ	c	タ	
	d	シ	e	ニ	f	コ	
	g	テ	h	エ	i	イ	
	j	ツ	k	ト			
(1)	(例) 採用された官僚と皇帝との結び付きを強化するため、皇帝自らが試験官を務める殿試を行った。 【2点】						
(2)	青苗法	【2点】	(3)	『資治通鑑』	【2点】	(4)	エ
						【3点】	
(5)	(例) 耶律阿保機が建国した遼は、 後晋 の建国を援助した代償として、燕雲十六州を獲得した。 【3点】						
(6)	イ	【3点】	(7)	魚鱗図冊	【2点】		
(8)	i)	(例) 南海諸国に朝貢を促す				【2点】	
	ii)	(例) 鄭和とヴァスコ=ダ=ガマの遠征時期を確認したり、両者の航海ルートを地図に記入したりする活動を通して、大航海時代が訪れる前に、アジアにおける大規模な貿易ネットワークが形成されていたことに気付かせる。 【5点】					
(9)	一条鞭法 【2点】						
(10)	i)	(例) 康熙帝は、台湾を拠点とした 鄭成功 を中心とする鄭氏一族の反清運動を降伏させると、厳しい海禁を解除し、開放策に転じた。18世紀、乾隆帝は貿易港を廣州一港に限定し、 公行 が貿易を独占した。 【6点】					
	ii)	ネルチンスク条約				【2点】	

世界史解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名
---------	-------	------	----

(7年)

3 【13点】

(1)	ベルギー	【3点】	(2)	ルイ=ブラン	【3点】
(3)	国民の関心を外へそらすため、シャルル10世がアルジェリア出兵をおこなった。				【4点】
(4)	メッテルニヒ	【3点】			

4 【60点】

【各3点】

	a	カ	b	エ	c	ア	d	オ
	e	ケ	f	ウ	g	コ	h	サ
	i	タ	j	ス				
(i)	<p>(例)</p> <p>ドイツ、イタリア、オーストリアは三国同盟を結ぶ。イギリス、ロシア、フランスは三国協商を結ぶ。両陣営の間には対立が存在する。</p>							
(2)	エ	【3点】						
(3)	i)	バルフォア宣言(バルフォア書簡)						【2点】
	ii)	(例) イギリスは、フサイン=マクマホン協定によりアラブ人にオスマン帝国からの独立を約束する一方で、フランスとロシアとサイクス=ピコ協定を結び、オスマン帝国領の分割を取り決めた。						【4点】
(4)	無制限潜水艦作戦			【2点】	(5)	ウ	【3点】	
(6)	I	(例) 領土紛争や少数民族問題を抱えることになった						【2点】
	II	(例) 民族自決が適用されず、植民地主義が維持された						【2点】
(7)	(例) 集団安全保障下で行動の自由が制限されることを懸念する孤立主義の世論が高まったから。						【3点】	
(8)	シュトレゼマン		【2点】	(9)	ウ	【3点】		

5 【16点】

19世紀半ばには、アイルランドでのジャガイモ飢饉や1848年のドイツ合衆国への移民が増加した。1848年、カリフォルニアでの金鉱発見を契機としたゴールドラッシュが起こると、大量の移民が太平洋岸に流入し、西部開拓を支えた。また、1869年に完成した大陸横断鉄道の建設にも、アイルランドや中国などからの移民が従事し、アメリカ合衆国の発展に貢献した。19世紀後半からは、南欧や東欧からの移民が増加したほか、19世紀末には、ロシアや東欧で起こったユダヤ人襲撃事件であるポグロムを逃れて増加したユダヤ系移民も、アメリカ合衆国の経済発展を支えることとなった。	30
	270
	300